

スポーツ総合センター南側駐車場 舗装工事終わる 駐車禁止にご協力を



阿南市スポーツ総合センター南側駐車場の舗装工事が完了し、利用が始まっています。

この駐車場は、公共下水道富岡浄化センターの増設予定地で、一時的に駐車場として利用しています。長年の使用で路面状態が悪化し、かねてから施設利用者からの強い要望をいただいていたことから、市が整備したものです。アスファルト舗装された3,395㎡には131台分の駐車スペースが確保され、雨天時でも快適に利用いただいています。なお、安全確保のため、同施設への進入路沿いや正面玄関前のロータリー付近の駐車を禁止していますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

「野球のまち阿南」の新しいお土産品 「野球活竹人形」が完成！



「野球のまち阿南」の新しいお土産品「野球活竹人形」が完成し、2月20日、光のまちステーションプラザで披露されました。これは、市と阿南商工会議所が「野球のまち阿南」のさらなる活性化を図ろうと共同で取り組んだもので、阿南商工会議所から依頼された「阿南活竹人形職人会」の皆さんが5カ月間かけて完成させました。市の特産品の竹と野球を融合させた「野球活竹人形」は細部にわたり巧妙に作られており、同会の久積國人さん(54歳・宝田町)は、「しなやかな投球フォームやバッターの迫力を表現するのが難しかったです。」と笑顔で話していました。

「野球活竹人形」は、4月1日から光のまちステーションプラザなどで販売されます。

花見とパノラマが楽しめる桜の新名所！ 香風台公園に遊歩道が完成



妙見山一帯に広がる岩脇公園などの環境整備に取り組む「岩脇公園を美しく志隊」が、2年前から整備を進めてきた遊歩道がこのほど完成し、2月28日に通り初めが行われました。

完成した遊歩道は、香風台公園駐車場から展望台に通じる延長約130mの土道。道沿いには転落防止用の木柵が設けられているほか、シバザクラや水仙、200本のソメイヨシノが植えられており、春には色とりどりの花を楽しむことができます。同隊代表の新田文一さん(71歳・羽ノ浦町)は、「南向きで温かく、花見には最高の場所。将来は、桜の新名所となることを期待しています。」と話していました。

新ごみ処理施設の名称 「エコパーク阿南」に決定！



阿南市新ごみ処理施設の名称が「エコパーク阿南」に決定しました。

平成24年12月20日から市のホームページ等で募集したところ、市内外から180件(131人、うち県外38人)の応募がありました。阿南市新ごみ処理施設名称審査委員会で5件を候補として選定した後、施設周辺の阿南第二中学校、福井中学校、椿町中学校の全生徒の投票により決定しました。命名者は赤羽和親さん(57歳・神奈川県川崎市在住)で、リサイクルや環境学習の場としての機能、緑あふれる広場も併設されることから、環境を表す「エコ」と公園や場所を表す「パーク」を組み合わせて、多くの人々に親しまれるよう願いが込められています。

津波避難に役立てて！ 市内250カ所に海拔表示看板を取付け



沿岸部地域の津波避難などに役立ててもらおうと、市は3種類の海拔表示看板を製作し、市内250カ所の電柱や公共施設に取り付けました。看板は、赤色(海拔5m未満)、青色(5m以上10m未満)、緑色(10m以上)と5m単位で色分けし、海岸からの距離も表示されています。

2月20日、市防災対策課の職員が、椿小学校の門柱に「海拔6.2m」と書かれた青色の看板を取り付けました。作業を見守っていた校長の谷本良裕さん(56歳)は、「登下校時に目にすることで防災・減災への意識が高まります。正門前なら地域の方の目にもふれ、啓発にもつながります。これを機に、地域の方と連携し、避難計画を充実させていきたいです。」と話していました。

避難所生活のノウハウを学ぶ 橘小で「避難所生活体験学習」を実施



子どもたちに避難所生活のノウハウを学んでもらおうと、2月27日、橘小学校で「避難所生活体験学習」が行われました。訓練には全校児童のほか、保護者や橘町婦人会の方も参加して行われ、パケツリレーや簡易担架による搬送訓練や段ボールを使った「居住スペースづくり」を行いました。児童は、吉田副校長から段ボールを使った間仕切りの作り方の説明を受けた後、8班に分かれて「居住スペースづくり」に挑戦。20分余りで16区画の居住スペースを完成させました。「みんなで力を合わせて作ることができました。」と佐野翔影さん(小6)。「子どもだけでも簡単に作れることがわかったので、もしもの時に役立てたいです。」と話していました。

巨大地震による大規模災害に備えろ！ 消防本部が初動対応訓練等を実施



近いうちに起こるとされる南海トラフ巨大地震の発生に備え、迅速かつ確に対応できるようにしようと、消防本部で非常招集訓練や初動対応訓練を行いました。

訓練は、週休者や非番者等を含む90人の消防職員を対象にぬきうちで行われました。午前7時30分、警告音とともに非常招集がかけられると、主幹級以上の職員が3階の作戦室に集まり、警防本部を設置。30分後には週休者や非番者も駆けつけ、緊急出動に備えて隊を編成しました。作戦室では、消防車・救急車の配備状況や消防団の活動状況を把握しながら、出動指令や応援要請を指揮。屋外では、消防車両の高台への移動や資機材の確認・増強、エアテントの設営なども行いました。

大規模災害時に食料品等を優先提供 大塚製薬(株)・大塚食品(株)と協定



市は、大塚製薬株式会社徳島支店との間において、地震等の大規模災害が発生した場合等に、食料品や飲料水等の調達に関して円滑にそれら確保するための協定を締結しました。

また、大塚食品株式会社広島支店との協定では、大規模災害が発生し、市が災害対策本部などを設置した場合に、設置された自動販売機内の飲料水等を無償で提供を受けることができます。震度5以上の地震や大規模停電、大雨・洪水など7つの警報が発表された場合などに適用され、一定の条件を満たす状況下にあるときに協定に基づく支援を受けることができます。